

# 教育事業個別報告書

事業名	リフレッシュ・キャンプ《ウインター》 なすかしの森でお正月を楽しもう！ ～なすかしクラブ再会プロジェクト～
趣旨	3.11の震災により、国立那須甲子青少年自然の家での避難生活を余儀なくされていた小中学生とその家族がなすかしで再開することで旧交を深め、なすかしの森でのお正月活動を通してリフレッシュし、今後の生活への希望と活力を持つことができるようにする。
期間	平成24年1月7日（土）～8日（日）
募集人員 （募集結果）	国立那須甲子青少年自然の家に避難していた小中学生とその家族 200名 （参加者60名：未就学児8名 小学生15名、中学生1名 高校生以上36名）
① 事業の特色	
<p>那須甲子青少年自然の家は3月13日より一次避難所として、避難者の受入を行ってきた。なすかしの避難されていた方々で、現在も避難区域に指定されている方々は地元にも帰ることも出来ず、仮設住宅や借上げアパートなどに生活している。そこで、離ればなれになった方々がなすかしの集合し、再会することで旧交を深め、さらに今後、震災を乗り越え新たな生活に向けて第一歩となるような機会とした。</p> <p>プログラム内容としては、出会いのつどいで避難後の近況報告を行った。その後、雪遊びでリフレッシュし、夜は復興への願いを込めた団子さし作り。そして翌日は参加者全員で餅つきを行い、正月行事を堪能しながら、交流を深め、今後の生活へ希望と活力を持つことができるようにした。</p>	
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>【家族で団子さし作り】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【餅づくしランチ みんなで餅つき】</p> </div> </div>	
② 事業の成果と課題	
<p>〈事業の成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仮設住宅や借り上げアパートなど周りと交流が少なくなるという方々がいるなか、なすかしで再会し、交流を持ちリフレッシュできた。</li> <li>家族や家族間同士のつながり、絆が感じられた。</li> </ul>	
③ その他	
<ul style="list-style-type: none"> <li>震災から1年が経過し、復旧から復興へと支援の内容が変化していく中で、青少年教育施設であるなすかしが今後、何ができるのか検討していきたい。</li> </ul>	